

山行報告書

山行管理部

公開山行 能勢妙見山 8月27日 CL:井上 SL:飯塚 関
参加者 13名(うち一般1名)

妙見口駅出発 8:20 ⇒初谷溪谷コース(途中 体操 点呼) ⇒12:00 能勢妙見山
(昼食 クラブ紹介) 出発 13:10⇒上杉尾根コース⇒ 14:20 妙見口(解散)

天気予報では最高気温35度でしたが一般参加者の申し込みもあり山行を決行しました。
初谷溪谷コースではキャンプ、魚釣り、水遊びする人々を横目に熱中症に注意して休憩時間、水分補給を多めに取り汗だくで山頂を目指しました。

能勢妙見宮付近の木陰で昼食後にいつもより時間を長く取りクラブ紹介、行事案内、勧誘そして参加者全員の自己紹介で一般参加者方、新会員の方との交流を深めました。

下りの上杉尾根は昨今の雨量多さで荒れていましたが全員無事に下山しました。

猛暑の中、ご参加いただいた皆さんお疲れ様でした。特に80歳超えた2人レジェンドに敬意を表し感謝申し上げます。
(井上 記)

土曜山行 赤子谷沢歩き 2023年9月9日 晴れ時々曇り

C L湯浅、S L楠本、願野 参加13名

タイム 5:40 距離7.5km 累積標高 +578m

生瀬呉駅8:00→生瀬水路経由→左俣/右俣分岐8:50→左俣コースを登る→ゴルジュ



9:30→六甲縦走路分岐10:40(昼食)→
11:20 右俣への入り口→右俣コースを下る→
12:40 左俣/右俣分岐→生瀬駅13:40(解散)

今年春の大雨で赤子谷のシンボルであるゴルジュの右壁が大きく崩れ、入口付近が埋もれました。また、沢筋の倒木が多くなりハイカーが減ったため、踏み跡が薄くなるなど今迄以上にルートファインディングが難しい、ワイルドなコースとなりました。そこで、これはいい経験と、参加メンバーに交代でトップに立ってもらい、読みの難しい渡渉箇所、倒木で塞がれたルート、堰堤の巻き道の判断など、沢や谷筋の風景を観察しながら他のメンバーを引っ張ってもらいました。とても蒸し

暑い中、蜘蛛の巣をかき分けながら6時間弱で周回しました。

(湯浅 記)

ウイークデー 天王山&サントリービール工場見学 9月13日

CL 井上 SL 川井 参加者 17名

大山崎駅 8:40→8:56 宝積寺(体操)→9:25 青木葉谷展望広場→9:41 酒解神社→
9:53 天王山→10:22 サントリー山→10:40 小倉神社分岐(昼食) 11:00 出発→
11:30 小倉神社→12:00 西山天王山駅→12:15 サントリービール工場

13:00~14:10 工場見学後解散

9月中旬なのに暑すぎるので当初予定のコースを短縮、変更し山行しました。
天下分け目の山崎合戦跡地や途中の展望台から京都、大阪の眺望を楽しんでゆっくり
と登りました。サントリー山では「早くビール飲みたい」との声が聞こえました。
工場見学は麦芽、ホップ、天然水こだわった製造工程を見学しいよいよ試飲会場へ
山行で大量に発汗した身体にビールが染み渡りました。

この度、コース先導して下さったT副会長殿に御礼申し上げます。

(井上 記)

ターブルドート部 友ヶ島ハイキング 9月17日(日)

CL 稲田 SL 濱田 参加者合計 18名

所要時間 3時間 35分(休憩 1時間 25分) 歩行距離 6.0km 天候 晴れ 気温 33度

加太友ヶ島汽船棧橋 10時 00分発⇒(友ヶ島汽船) ⇒友ヶ島野奈浦棧橋 10時 30分着・10
時 50分発⇒大瀧不動明王⇒南垂水広場⇒南垂水広場キャンプ場⇒第3砲台跡⇒タカノス
展望台(昼食) 12時 10分着・12時 50分発⇒幸助松海岸⇒友ヶ島灯台⇒第2砲台跡⇒野奈
浦棧橋 14時 20分着・15時発⇒(友ヶ島汽船) ⇒加太友ヶ島汽船棧橋 15時 30分着(解散)

四年前に原さんが企画された「友ヶ島ハイキング」コロナ禍や友ヶ島汽船の欠航等々で3
年連続の中止、漸く四度目の正直で実施することが出来ました。友ヶ島は役行者の葛城修
験二十八宿経塚で日本遺産に登録されておりますが、今回は友ヶ島の海岸線や関西国際空
港、六甲、明石海峡、淡路島、紀淡海峡の風景を楽しみながら旧由良要塞の砲台跡等の戦
争遺跡を巡りました。海は南風(まぜ)があり潮の早い所では波が立ち参加者の皆様には
少しではありますがちょっと揺れる船旅も味わって頂きました。加太港にて解散となりま
したが淡島神社にお詣りされた方もおられました。ご参加された皆様、SLの濱田さん、何
かとサポート頂いた児玉さん、井上さんに、そして原案を企画された原さんに感謝のハイ
キングでした。ありがとうございました。



(稲田理 記)